

APRESIA Systems メディアコンバーター

ApresiaLightMC シリーズ

Ver. 1.00.06

リリースノート

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂来歴表

| No. | 年 月 日 | 内 容 |
|-----|-----------|------|
| - | 2022年7月8日 | 新規制定 |
| | | |

はじめに

ApresiaLightMC シリーズ 1.00.06 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関しての重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。


リリースバージョン

| | |
|-------------|---------|
| 今回リリースバージョン | 1.00.06 |
| 前回リリースバージョン | 1.00.05 |

適応機種一覧


| シリーズ名称 | 製品名称 |
|-------------------------|--------------------------|
| ApresiaLightMC シリーズ | ApresiaLightMC-SX |
| | ApresiaLightMC-LX |
| | ApresiaLightMC-BX20D |
| | ApresiaLightMC-BX20U |
| | ApresiaLightMC-BX40D |
| | ApresiaLightMC-BX40U |
| | ApresiaLightMC-FX |
| ApresiaLightMC-PoE シリーズ | ApresiaLightMC-SX-PoE |
| | ApresiaLightMC-LX-PoE |
| | ApresiaLightMC-BX20U-PoE |
| | ApresiaLightMC-BX40U-PoE |
| | ApresiaLightMC-FX-PoE |

ファームウェアバージョンアップ時の注意事項

 バージョンアップ時における注意事項を記載しています。ご使用前に必ずご一読下さい。

【1.00.04 以前から 1.00.05 以降へのファームウェアバージョン変更時】

- ・ Ver. 1.00.05 のファームウェアではバージョンアップ後にコンフィグ設定の追加/変更が必要な機能を追加しております。Ver.1.00.03 / Ver. 1.00.04 からバージョンアップする場合は Ver. 1.00.05 のリリースノートをご確認いただき、十分理解されたのち、バージョンアップを実行ください。バージョンアップ後は必ずコンフィグ設定の初期化 コンフィグ設定の保存が必要になりますのでご注意ください。
- ・ 遠隔でバージョンアップ作業を実施された場合、APLMC-10005-RC004 の仕様変更により、装置にアクセスできなくなる恐れがありますので、事前に通信環境をご確認ください。
MNG ポート経由の IP アドレスはバージョンアップ後も引き継がれますが、USER ポートまたは LH ポート経由の IP アドレスについては引き継がれずに無効となります。

 本装置は同一のファームウェアバージョン同士を接続してご使用ください。

対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

| 製品名称 | 対応バージョン |
|--------------------------|--------------------------------|
| ApresiaLightMC-SX | ApresiaLightMC Ver. 1.00.03 以降 |
| ApresiaLightMC-LX | |
| ApresiaLightMC-BX20D | |
| ApresiaLightMC-BX20U | |
| ApresiaLightMC-BX40D | |
| ApresiaLightMC-BX40U | |
| ApresiaLightMC-FX | |
| ApresiaLightMC-SX-PoE | |
| ApresiaLightMC-LX-PoE | |
| ApresiaLightMC-BX20U-PoE | |
| ApresiaLightMC-BX40U-PoE | |
| ApresiaLightMC-FX-PoE | |

輸出する際のご注意

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

商標一覧

Apresia/APRESIA は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

Ethernet 及びイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

APLMC Ver.1.00.06 リリース情報(2022年7月)

機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

仕様変更

APLMC-10006-RC001

内容 リンクパススルー(LPT)において、USER ポートの強制リンクダウン解除許可フレーム(EFM-OAM の critical event bit = 0)を受信してから一定の時間(約 4 秒)、対向装置側へ強制リンクダウン要求フレーム(EFM-OAM の critical event bit = 1)を送信しないように変更しました。

関連 -

APLMC-10006-RC002

内容 リンクパススルー(LPT)において、USER ポートのリンク断伝達保護時間(advertise_wait)を設定した場合、従来よりも 2.5 倍の時間保護するように変更しました。advertise_wait=20 を設定した場合は 5 秒間保護されます。

関連 -

修正

APLMC-10006-RC003

内容 1.00.05 のファームウェアにおいて、LH ポートまたは USER ポートにリンク断伝達保護時間(advertise_wait)を設定しても設定値が実際の動作に反映されない問題を修正しました。
(初期値 : 0 秒)

関連 -

APLMC-10006-RC004

内容 1.00.05 のファームウェアにおいて、LH ポートのリンクダウンログが稀に出力されない問題を修正しました。(syslog/SNMP トラップを含む)

関連 -

APLMC-10006-RC005

内容 1.00.05 のファームウェアにおいて、同一のリンク状態変化ログが2件続けて誤出力される問題を修正しました。(syslog/SNMP トラップを含む)

関連 -

APLMC-10006-RC006

内容 リンクパススルー(LPT)において、対向接続時に以下の手順を実施した場合、自装置側 USER ポートが強制リンクダウン、対向装置側 USER ポートがリンクダウン状態に遷移するように修正しました。

手順：

- (1) 自装置側 USER ポートの TP ケーブル抜去
(対向装置側 USER ポートが強制リンクダウン)
- (2) 対向装置側 USER ポートの TP ケーブル抜去
- (3) 自装置側 USER ポートの TP ケーブル再挿入

修正前：

自装置側 USER ポートはリンクアップ、対向装置側 USER ポートは強制リンクダウン状態になります。

関連 -

ApresiaLightMC シリーズ
Ver.1.00.06 リリースノート
Copyright(c) 2022 APRESIA Systems, Ltd.
2022 年 7 月 初版

APRESIA Systems 株式会社
東京都中央区築地二丁目 3 番 4 号
(築地第一長岡ビル 8 階)

<https://www.apresiasystems.co.jp/>